

## 温室効果ガス削減で「SBT イニシアチブ」1.5℃目標の認定を取得

積水ハウス株式会社は、設定した温室効果ガスの削減目標について、パリ協定の目指す「1.5℃目標」に整合する水準であると認められ、国際的なイニシアチブである「SBT イニシアチブ」から6月8日に認定を取得しました。



パリ協定で定められた「世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べて2度より十分低く保ち、1.5度以内に抑える努力をする」ことは世界共通の長期目標です。当社は2008年に2050年を目標とした脱炭素宣言をおこない、2018年には「SBT イニシアチブ」から国内の住宅業界で初めて認定を取得<sup>\*1</sup>。今回はさらに上位の「1.5℃目標」をSBTより認定されたものです。

### 積水ハウスの新しい削減目標

- ・2030年までにスコープ1（直接排出）とスコープ2（間接排出）を2013年度比75%削減する
- ・2030年までに製品使用時のCO<sub>2</sub>排出量（スコープ3 カテゴリー-11）を2013年度比55%削減する
- ・2027年までに当社サプライヤーの65.8%がSBTを取得する<sup>\*2</sup>

当社は、「積水ハウス オーナーでんき」によるCO<sub>2</sub>排出ゼロの電力の大規模な調達などにより、国内全生産工場で使用する電力の78.7%を賄っています。さらにZEB基準を満たす省CO<sub>2</sub>な事務所への入居の促進、業務用車両の電動化などの取り組みを進めた結果、2022年度のスコープ1（直接排出）とスコープ2（間接排出）の排出量は従来のSBT目標である2013年度比50%削減を達成<sup>\*3</sup>し、更に野心的な目標として75%削減目標への引き上げを行いました。

また、2022年度の当社新築における、戸建住宅のZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）比率<sup>\*4</sup>が93%まで高まったことや、賃貸住宅「シャームゾン」の住戸ZEH比率<sup>\*5</sup>も65%に到達、分譲マンションにおいてもZEH住戸比率<sup>\*6</sup>が88.8%となるなど、各取り組み進捗状況を踏まえ、スコープ3 カテゴリー-11についても目標を55%削減に引き上げることを決定しました。さらに、より多くのステークホルダーと気候変動問題に取り組みたいという思いから、サプライチェーンにおけるSBT取得率目標も設定しています。

当社は、「1.5℃目標」に整合する75%削減目標の達成をより実効的にするため、スコープ1、2のCO<sub>2</sub>排出量の削減率を取締役の業績連動型株式報酬（PSU）のESG経営指標に組み入れました。

積水ハウスは“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンのもと、ESG経営のリーディングカンパニーを目指し、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

## 「SBT イニシアチブ」について



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

SBT (Science Based Targets、科学と整合した目標設定) とは、パリ協定が求める水準に整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のこと。CDP (カーボン ディスクロージャー プロジェクト)、WRI (世界資源研究所)、WWF (世界自然保護基金)、UNGC (国連グローバル コンパクト) の4団体が運営。

<http://sciencebasedtargets.org/>

\*<sup>1</sup> SBT 公式ホームページ内、認定企業一覧における「homebuilding」セクターでの検索結果

\*<sup>2</sup> 購入した商品やサービスの排出量ベース

\*<sup>3</sup> 関連リリース：2023年4月26日「事業活動の温室効果ガス排出量を2013年度比50%削減」

[https://www.sekisuihouse.co.jp/company/topics/topics\\_2023/20230426/](https://www.sekisuihouse.co.jp/company/topics/topics_2023/20230426/)

\*<sup>4</sup> 北海道以外のエリアにおける請負・分譲住宅のZEH比率

\*<sup>5</sup> ZEH Ready以上の受注戸数の比率

\*<sup>6</sup> ZEH Oriented以上の販売比率